

京都市指定管理施設

2022 年度
横大路運動公園・伏見北部地域体育館
桂川緑地久我橋東詰公園・三栖公園
事業報告書

横大路スポーツネットワーク

構成団体

公益財団法人京都市スポーツ協会

近建ビル管理株式会社

美津濃株式会社

イオンディライト株式会社

—目次—

(はじめに)	1
1 事業の実施状況及び施設の利用実績	
(1) 事業の実施状況	1
(2) 施設の利用実績	3
2 経費の収支決算	4
3 公園施設及び設備機器等の維持管理	
(1) 主な修繕・メンテナンス実績	5
(2) 市内中小企業への発注	5
4 利用者ニーズの把握状況	5
5 その他	
(1) サービスの提供計画	5
(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応	6
(3) 利用促進の各種取組	7
(4) 環境の取組	7
(5) 公園の総合管理と活性化	7
(6) その他	7
6 管理運営業務の自己評価	8

(はじめに)

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響による施設利用に関する制限が徐々に弱まり、平常状態への復帰に向け様々な取り組みを実施した1年となりました。

公益財団法人京都市スポーツ協会を代表団体とする当施設群については、美津濃株式会社と近建ビル管理株式会社、イオンディライト株式会社を加えた4社で共同事業体を構成し、以下の5つの基本理念をもって管理運営に当たりました。

基本理念 『魅力あふれるスポーツの場づくり』の継続実現に向けて

- (1) 安心・安全を第一とした管理運営
- (2) 公共スポーツ施設としての公平性と柔軟性を兼ね備えた管理運営
- (3) 関係団体との連携によるスポーツ振興や競技力向上を見据えた管理運営
- (4) 多様化する利用者のニーズに対応した管理運営
- (5) 施設の特徴を理解し、地域に密着した管理運営

1 事業の実施状況及び施設の利用実績

(1) 事業の実施状況

ア スポーツ教室

スポーツ施設を幅広く活用し、子どもから高齢者まで気軽に利用できるプログラムを提供し、あわせて施設の活性化を図りスポーツ教室を開催しました。

<横大路運動公園>

【主な種目】 バドミントン、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール

【参加人数】 延べ2,647名

<伏見北部地域体育館>

【主な種目】 ヨガ

【参加人数】 延べ399名

イ みんなのスポーツフェスタ 伏見ウォーク ～伏見の名水めぐり 11kmを歩く～

子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及・振興に寄与する事業として、伏見港公園をスタート、三栖公園をゴールとした南部11kmコースのウォーキングを実施しました。

【実施日】 11月13日(日) 9:30 スタート 【参加人数】 51名

ウ 施設一般開放(みんなのスポーツ広場)

利用率の低い時間帯に個人利用可能な時間帯を設定し、事前登録及び事前申し込み不要での個人利用を可能とし、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを行うため、施設を一般開放しました。

【場 所】 横大路体育館 【種 目】 バドミントン、バスケットボール

【実 施】 12回 【利用人数】 延べ40名

エ スポーツイベント（ミズノ）

市民の体力の向上及びスポーツに対する興味・関心をもつ機会を与えるとともに、競技スポーツの専門的な知識を身につけることを目的に、幅広い年代に合わせたスポーツイベントを実施しました。

講座名	実施日	場所	参加人数
苦手克服！鉄棒教室	8月27日（土） 9:30～12:30	横大路体育館	6名
苦手克服！とび箱教室	9月10日（土） 9:30～12:30	横大路体育館	5名

オ スポーツ情報提供事業

当事業体の情報やイベント事業にあわせて、プロスポーツ団体の情報及び貴市の取組等を代表団体である公益財団法人京都市スポーツ協会の情報誌「ダッシュ！」に掲載し、積極的な情報発信に努めました。

また、公益財団法人京都市スポーツ協会及び美津濃株式会社のホームページやFacebook、Instagramに、施設利用方法やスポーツ事業などの情報を掲載し、利用拡大につながる広報案内を行いました。

カ 自動販売機の設置

利用者にとって便利な場所に飲料の自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を高め、利用者サービスの向上を図りました。

キ 物品販売及び貸与事業の実施

利用者の利便性を高めるために、競技に必要な物品の販売貸与を実施し、サービス向上に努めました。

(2) 施設の利用実績

(利用率は、緊急事態宣言に伴う閉館期間を除いて算出)

施設		2019		2020		2021		2022	
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
横大路運動公園	体育館	1,654	72.0	1,608	63.7	1,484	68.6	1,592	73.9
	硬式野球場		57.4		59.1		61.1		56.4
	第1・2・3グラウンド		32.5		28.5		32.4		30.1
	洋弓場		0.0		0.0		0.9		0.6
	洋弓場（個人利用）	3,565		3,023		2,241		2,858	
	トレーニングルーム	1,363		390		382		885	
伏見北部地域体育館		1,699	90.4	1,481	88.1	1,482	85.3	1,858	95.6
桂川緑地久我橋詰公園	球技場	3,745	20.4	3,844	23.1	3,911	26.1	4,000	23.1
	少年サッカー場		17.7		19.5		24.1		18.1
	フットサル場		6.2		7.4		12.3		6.5
	多目的グラウンド		11.1		18.0		23.6		19.5
	テニスコート		18.3		23.5		22.5		18.8
三栖公園	グラウンド	2,831	33.0	2,371	31.5	2,337	40.0	2,761	37.0
	テニスコート		32.2		34.8		32.8		31.9

2 経費の収支決算

2022年度		指定管理料	横大路	伏見北部地体	久我橋	三栖	合計
指定管理 収支	指定管理料	40,079,723	-	-	-	-	40,079,723
	利用料金収入(※)	-	31,573,342	4,017,355	9,141,260	11,337,805	56,069,762
	その他収入	-	-	-	-	-	0
	指定管理収入合計	40,079,723	31,573,342	4,017,355	9,141,260	11,337,805	96,149,485
	人件費	-	28,905,441	10,950,093	10,587,099	12,124,067	62,566,700
	通信費	-	230,002	171,897	199,309	178,446	779,654
	備品費・消耗品費	-	1,994,725	250,613	103,416	234,987	2,583,741
	修繕費	-	3,196,968	1,355,747	84,328	45,320	4,682,363
	燃料費・光熱水料費	-	6,046,746	1,920,687	1,547,207	432,041	9,946,681
	保険料・租税公課	-	206,170	2,240	142,180	19,150	369,740
	外部委託費	-	8,117,676	620,509	5,502,272	1,675,267	15,915,724
その他物件費	-	378,716	51,190	85,372	47,170	562,448	
指定管理支出合計	0	49,076,444	15,322,976	18,251,183	14,756,448	97,407,051	
指定管理収支	40,079,723	△ 17,503,102	△ 11,305,621	△ 9,109,923	△ 3,418,643	△ 1,257,566	
その他 収支	事業収入(その他)	-	4,493,651	328,244	0	0	4,821,895
	その他収入合計	0	4,493,651	328,244	0	0	4,821,895
	人件費	-	384,463	188,229	37,646	56,468	666,806
	外部委託費	-	2,348,977	204,906	0	0	2,553,883
	その他事業経費	-	1,144,512	66,400	0	0	1,210,912
	その他支出合計	0	3,877,952	459,535	37,646	56,468	4,431,601
	その他収支	0	615,699	△ 131,291	△ 37,646	△ 56,468	390,294
	事業収入(物販)	-	1,886,621	281,109	0	473,458	2,641,188
	物販収入合計	0	1,886,621	281,109	0	473,458	2,641,188
	人件費	-	1,317,604	376,458	0	282,344	1,976,406
	外部委託費	-	0	0	0	0	0
	その他事業経費	-	5,296	0	0	0	5,296
	物販支出合計	0	1,322,900	376,458	0	282,344	1,981,702
	物販収支	0	563,721	△ 95,349	0	191,114	659,486
収支差額合計	40,079,723	△ 16,323,682	△ 11,532,261	△ 9,147,569	△ 3,283,997	△ 207,786	

3 公園施設及び設備機器等の維持管理

良好な環境衛生や美観の維持、さらに安全かつ快適な空間を保つための適切な施設・設備・植栽などの維持管理に努める一方で、市民が「安心・安全」に施設を利用できるよう、建物や設備機器を管理しました。

当施設においては、外観やその設備機器の経年劣化が著しい箇所があるため、予防保全を基軸とした各種点検・メンテナンスを進めながら、施設・設備の長寿命化対策や機能改善工事、安全対策工事を実施しました。

(1) 主な修繕・メンテナンス実績

横大路運動公園

バスケットボール点検・補修、遊具点検・修繕、アリーナ照明・非常照明不点灯対応
自家発電設備消耗品交換、体育館衛生器具各所取替修繕、園内倒木処理
給湯循環ポンプ(還)取替修繕、体育館パラペット屋根幕板修繕

伏見北部地域体育館

バスケットボール点検修繕・欠損ボルト対応、街灯更新工事、卓球台脚部溶接修繕

桂川緑地久我橋東詰公園

公用車修理、各グラウンド整備

三栖公園

女子トイレ水漏れ修繕、污水管詰まり清掃、高木の強剪定

(2) 市内中小企業への発注

京都市公契約基本条例に即して、法令上の制限や、専門的な能力を有する者に発注する必要がある場合、その他特別の事情がある場合を除き、京都市内中小企業への発注を行いました。

2022年度 市内中小企業発注比率： 100.0% (65/65件)

4 利用者ニーズ等の把握状況

各施設とも老朽化が進んでいることから、利用者からの声をもとに優先順位をつけた計画的な修繕を行い、利用者サービスの維持・向上に努めました。

また、横大路運動公園では、日々、トップチームの練習場として利用いただく京都ハンナリーズからの要望に応え、1階倉庫の貸し出しを行いました。

その他、貴市のスケートボード実証実験に協力し、市民ニーズや受入可能性の検証と公園スペースの有効活用を図りました。

5 その他

(1) サービスの提供計画

ア 公平なサービスの考え方

当施設は、広く市民が利用できることのほか、各種競技団体が開催する大会等の利用があり、スポーツ振興の観点を大切にしながら、以下の5つを基本としてバランス

のとれた質の高いサービスを提供するように努めました。

【基本方針】「サービス」「参加」「活動」「施設提供」「施設利用」の公平性

イ 効率的職員配置

常に利用者サービスの向上を念頭に置いて、有用な人材を適所に、効果的・効率的に配置し、施設を運営しました。

必要な職員数を確保し、無駄を省いて弾力的に配置しつつ、競技大会開催時や施設メンテナンス時には職員を重点的に配置しました。

ウ 職員の育成・研修体制

競技環境や利用者サービスのさらなる向上を目的として、外部団体が実施する研修会への参加（リモート研修を含む）や、市民応対・施設管理技術のスキルアップ研修並びに勉強会を実施しました。

【内 容】 接遇マナー・クレーム対応研修、
ハラスメント研修、WEB 広告戦略セミナー、
DEI 推進男性の育休取得実現研修、
個人情報保護・セキュリティ研修、
上級施設管理士・スポーツ施設管理公認資格更新研修、
京都府体育・スポーツ施設管理者講習会

(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応

ア 防災訓練等の実施

万が一の災害に備え、利用者の安全確保を第一優先に、迅速かつ的確な指示ができるよう、スタッフ研修・訓練を実施するとともに、関係団体・機関との緊急連絡体制の相互確認を行いました。

イ 熱中症の対応について

利用者への水分補給等、熱中症対策についての声掛けや掲示物による注意喚起を積極的に行い、利用者自身の体調管理に関する意識啓発に向け、各施設にも経口補水液を常備することで、より安全なスポーツ・レクリエーション活動をサポートしました。

ウ 雷対策について

屋外施設については、雷警報機(ストライクアラート)を備え、利用者への無料貸出を積極的に行い、安全に施設利用できるようサポートに努めました。

エ 新型コロナウイルス感染症防止対策について

スポーツ庁や京都府発出のガイドラインや貴市の定める対策方針等に従い、適切な施設運営に努めました。アルコール消毒液や次亜塩素酸水を配備して安全衛生に努め、

新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止に取り組みました。

(3) 利用促進の各種取組

横大路運動公園では、体育館の一般開放事業を実施し、また様々な競技種目の市民スポーツ教室やイベントを開催するなど、施設の利用拡大と活性化に取り組みました。

また、横大路運動公園体育館の会議室について、スポーツに関する研修や会議以外にも利用ができるよう申込条件を整備し、市民サービスの向上を図りました。

(4) 環境の取組

ア KES STEP1 認証取得

環境マネジメントシステム・スタンダード KES STEP1 の認証を 2009 年 7 月 1 日に取得し、様々な環境改善活動に取り組んでいます。

施設スタッフが日常的に省エネルギー対策に取り組み、節水やこまめな消灯を徹底し、利用者の協力が必須になるゴミの持ち帰りや省エネルギー等の取組については、声掛けやポスター掲示等を行い、ご理解・ご協力を得ながら取り組みました。

イ エコステーションの設置（市民スポーツ会館へ集約）

(ア) テニスボールのリユース活動（新型コロナウイルスの影響により上期は自粛）

(イ) ペットボトルキャップのリサイクル

(ウ) 使用済み乾電池の回収

(エ) 紙パックの回収

ウ 落ち葉の堆肥作り

スポーツ施設としての一面だけではなく、緑豊かな公園施設としての面を持ち合わせている当施設の総合管理の一環として、公園内の落ち葉を堆肥としてリサイクルし、参加型スポーツイベント「みんなのスポーツフェスタ」の環境 PR ブースにおいて希望者に配布しました。

(5) 公園の総合管理と活性化

横大路運動公園や桂川緑地久我橋東詰公園については、有料スポーツ施設の周辺に、散歩等ができる園路が整備されており、市民の憩いや触れ合いの場、或いは健康増進の場として利用されているところです。

市民や施設利用者に、安全・安心で、快適に公園をご利用いただくため、園内の植栽や樹木、舗装路等を適切に維持管理し、公園の総合管理と活性化に努めました。

(6) その他

ア 施設周辺の清掃活動（地域清掃活動）の取組み

施設の内側以外に周辺区域の美観を保つために、周辺に落ちているゴミを拾う清掃

活動を毎月1回実施しました。

イ 「歩くまち京都」の推進

公の施設のスタッフであるという自覚を持ち、「歩くまち京都」を推進し、当事業体のスタッフの通勤は可能な限り電車やバス等の公共交通機関を利用した通勤を徹底させました。

ウ 就業体験等の受け入れ

近隣の教育機関と連携した就業体験や、社会見学等の要望があれば積極的に受け入れる体制を取りました。

中学生の就業体験（チャレンジ体験）：藤森中学校

6 管理運営業務の自己評価

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響が残るなか、施設利用及び事業実施環境としては徐々に回復していく中での管理運営となりました。

経年劣化が進む施設や設備については、安心・安全確保の観点から計画的な小修繕をこまめに実施し、利用者サービスの低下を招くことのないよう努めました。

毎年懸案となる桂川緑地久我橋東詰公園の冠水被害による長期利用停止はなかったものの、新型コロナウイルスの影響が残る中での施設運営となり、各施設の利用件数や利用率は回復傾向ではあるが元には戻り切っていない施設が多く、指定管理収支は若干の赤字決算となりました。

市内中小企業への発注比率については、目標達成のため共同事業体とも情報共有を密に取り組み、100%と目標の90%以上を達成することができました。今後も引き続き共同事業体としての特色を最大限に活かし、一層の利用者サービス向上と効率的な管理運営に努めてまいります。